

# やまぐちっ子学力向上だより

第 102 号 R01.5.24  
山口県教育庁義務教育課

## 全国学力・学習状況調査、4月確認問題を終えて





全国学力・学習状況調査及び4月確認問題の実施に際して、調査の円滑な実施や採点・入力業務などに御尽力いただき、ありがとうございました。

今年度の全国学力・学習状況調査では、中学3年生を対象に英語の調査（「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」）が導入されました。特に、「話すこと」については、ヘッドセットを着用してパソコンの画面に表示される問題を見ながらマイクを通して解答を録音する方法で行われました（5分程度）。出題は、日常生活で起こり得る場面を再現しており、実際のコミュニケーションに役立つ英語の習得をめざす方向性となっています。また、生徒が答える質問紙では、2年生のときに受けた授業について「与えられた話題について即興で英語を使って話す活動が行われていたか。」や「英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたか。」などについての質問があり、これまで以上に授業場面で自分の考えや気持ちを話す時間を確保することが求められています。このことは、小学校外国語活動にも関連することから、小中連携における英語の研修等で「話すこと」をぜひ話題にしていいただければと思います。今回は、小中連携を意識して「話すこと」調査の一部を解説します。

本問は、会話する2人のやり取りに加わり、相手の発話の内容を踏まえて関連した質問や意見を述べるができるかを問う問題です。

この「話すこと[やり取り]」は、新学習指導要領で新たに設定された領域で、小学校外国語活動においては移行期間中にSmall Talkを通じて取り扱われている内容です。小学校中学年では基本的な表現を用いた挨拶や感謝、簡単な指示を、高学年では日常生活に関する簡単な事柄を、中学校では環境問題等の社会的な話題を扱います。

今後の「話すこと[やり取り]」の指導においては、事実だけでなく、自分の考えや気持ちを伝え合う対話的な言語活動の一層の充実が求められています。

<p>ユイコ                      あなた                      アラン先生</p> 	<p>大問2 あなたは、ユイコとアラン先生と話しています。まず、ユイコとアラン先生が、2人で話している場面から始まります。そのあと、あなたが尋ねられたら、2人のやり取りの内容を踏まえて、会話が続いていくように英語で応じてください。解答時間は20秒です。それでは始めます。</p>
	<p>A: Look at this picture of my family.</p>
<p>アラン先生が見せている写真</p> 	<p>A: This is my favorite picture. Y: Nice! Who is she? A: Oh, she is my mother, Nancy. And he is my brother, Tom. He can cook very well. Y: I see. What kind of work does your mother do? A: She is a teacher.</p>
<p>アラン先生が見せている写真</p> 	<p>A: Do you have any other questions about them? (解答時間20秒)</p>

(解答例) What kind of food does your brother cook?

## ミドルリーダーレベルアップ研修（算数・数学）

5月22日のミドルリーダーレベルアップ研修には280人以上の先生方の参加がありました。国立教育政策研究所 教科調査官 笠井健一氏（算数）、水谷尚人氏（数学）による講演や、全国学力・学習状況調査の自校採点の結果を踏まえた「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた校内研修」などの協議を行いました。

講演では、全国学力・学習状況調査の調査結果から分かる課題を例示しながら、どのような授業が求められているかについて説明していただきました。また、授業における説明の場面を想定して、説明する側と、説明を聞く側の児童の立場になって考える場面がありました。

本研修の詳しい内容につきましては、参加者から復伝がありますので、しっかりと情報共有していただきたいと思います。



笠井調査官の講演の様子



グループ協議の様子

参加者の感想を一部紹介します。

- 本日の研修会では新学習指導要領の取組について多くのことを学びました。これから若い世代が多くなることから自分の立場をしっかりと考えて復伝して今回の研修成果を広めたいと思います。
- 授業づくりの視点について大変参考になりました。特に、適切な問い返しについては明日の授業から実践していきたいと思います。
- どのように授業改善を行っていけばよいか具体的な方策が明らかになり、とても有意義な研修会でした。お二人の講師の先生のお話はとても分かりやすく、また、グループ協議では、話が大いに盛り上がり、元気が出ました。

## 授業アドバイザーの活用について

子どもたちにとって授業がより充実したものになるよう、日々の授業改善に資する校内研修の活性化等が求められるところです。

県教育委員会では、授業づくりや校内研修の一助となるよう、授業アドバイザー派遣制度を設けています。

本制度は、山口大学教育学部附属学校教員を学校に派遣して、授業づくりや校内研修の相談等、授業力の向上を支援する仕組みです。全教科で指導助言が可能で、旅費等もかかりませんので、是非御活用ください。詳しくは教育委員会に御相談ください。